

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成30年6月7日(2018.6.7)

【公開番号】特開2017-36029(P2017-36029A)

【公開日】平成29年2月16日(2017.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2017-007

【出願番号】特願2016-88018(P2016-88018)

【国際特許分類】

B 6 4 D 11/00 (2006.01)

G 0 9 F 13/00 (2006.01)

B 6 1 D 37/00 (2006.01)

【F I】

B 6 4 D 11/00

G 0 9 F 13/00 Z

B 6 1 D 37/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月20日(2018.4.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

移動プラットフォームのためのシステムであって、

内部空間を画定するストレージ区画であって、移動プラットフォームの一部を形成しており、前記内部空間を外部空間から物理的に分離させるように使用可能なストレージ区画と、

前記外部空間から見る事ができる配色を付与して前記ストレージ区画の扉を照らすことによって、前記ストレージ区画の前記内部空間の保管容量ステータスの視覚表示を前記外部空間に提供する視覚的インジケータ(150)と
を備えるシステム。

【請求項 2】

前記視覚的インジケータは、前記扉を照らす光を発生する光源を備える、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記視覚的インジケータは電子ディスプレイ(184)を備える、請求項 1 又は 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記視覚的インジケータは前記ストレージ区画に連結されている、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のシステム。

【請求項 5】

前記ストレージ区画の前記内部空間の前記保管容量ステータスを検出する容積測定センサ(149)を更に備える、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載のシステム。

【請求項 6】

前記視覚的インジケータは前記ストレージ区画から遠く離れているリモート視覚的インジケータを更に備える、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載のシステム。

【請求項 7】

各々内部空間を画定し、前記内部空間の対応する部分を前記外部空間から物理的に分離させるように各々使用可能な複数のストレージ区画を更に備え、前記視覚的インジケータ（１５０）は、前記複数のストレージ区画各々の前記内部空間の前記保管容量ステータスの視覚表示を前記外部空間に提供する、請求項１から６のいずれか一項に記載のシステム。

【請求項８】

移動プラットフォームのストレージ区画の保管容量ステータスを追跡するためのシステムであって、

前記ストレージ区画の前記保管容量ステータスを検出する容積測定センサ（１５９）と

、
前記容積測定センサ（１５９）に動作可能に連結され、前記容積測定センサから前記保管容量ステータスを受信する制御モジュール（１１４）と、

前記制御モジュール（１１４）に動作可能に連結された視覚的インジケータ（１５０）であって、前記制御モジュール（１１４）からのコマンドに応答して、前記ストレージ区画の前記保管容量ステータスの視覚表示を提供する物理的なしるしを表すための機械的ディスプレイを含む視覚的インジケータ（１５０）とを備えるシステム。

【請求項９】

移動プラットフォームのストレージ区画の保管容量ステータスを追跡する方法であって

、
前記ストレージ区画の前記保管容量ステータスを検出することと、

検出された前記保管容量ステータスに基づいて前記ストレージ区画の電子ディスプレイ
スクリーン上に前記ストレージ区画の前記保管容量ステータスを視覚表示することと
を含む方法。

【請求項１０】

移動プラットフォームのためのシステムであって、

内部空間を画定し、移動プラットフォームの一部を形成しているストレージ区画であって、前記内部空間に対して開位置と閉位置との間で移動可能であり且つ前記閉位置において前記内部空間を外部空間から物理的に分離させる扉を備えるストレージ区画と、

前記ストレージ区画に連結された視覚判断装置（１５１）であって、前記扉が前記閉位置にある時に、前記外部空間に前記ストレージ区画の内部空間への視覚的アクセスを提供する視覚判断装置（１５１）とを備えるシステム。